



ぶどうぐみ 2年ぶり



令和3年4月24日
社会福祉法人 まほろば
漆こども園

憧れのぶどうぐみがスタートしてもうすぐ1か月が経とうとしています。
新しいお友達を1名迎え29名とばかりにぶどうぐみ。「今日は何するの？」
「～していいよ」と毎日やる気いっぱい過ぎていきます。

ぶどうぐみになってからは、ラキューに帯巾になる子どもたちの数が多く、作り方の説明書を見ながら上手に作っています。完成した作品は1週間限定でロッカーに置き、友達やおうちの方、他のクラスの保護者に見せて「すごいね」と言われるとよりやる気を出して他の作品にも挑戦して楽しんでいきます。

こいのぼり製作

先日、4つのグループに分かれて、こいのぼりを作りました。使用する素材(カラー折り紙か模造紙)、どんな模様にするかなど子どもたち同士で考え設計図作り。こいのぼり作り始め初日は、「どうしたらいいやろう...」と固まってしまうグループ。意見を出し合うグループ、何も考えずにもらった袋を切り出してしまうグループと様々でしたが、作っていく内に「次はこれ作らなめか」「ここがうまいいへんか」といふほど自分たちで何かをしようとしたり、やってみて失敗し考える姿がいくつも見られるようになりました。私にもついつい「どうしたら？」と答えを言ってしまうこともありますが、グッと我慢し待つことで子どもたちからおもしろい考えが出てきたり、自分たちで考えやってみて成功した時の達成感や充実感、友達と作り上げる喜びをより感じられるのだと今回感じました。これから模様は経馬便をしながらいよいよ子どもたちの成長を見守っていきなさいと思っています。(こいのぼり作りの様子はホームページにもあげていますのでぜひご覧ください)



子どもたちにとって漆こども園で過ごす最後の1年とばかりにして、お友達と一緒に過ごしたり、様々な活動をする中で、ほかほかうまい自分の思いを言えなかったり、言えていても相手の話には耳を傾けられていなかったり、困ったこと、不安なことがあっても自分で言い出せなかったりする姿が見られます。お友達と一緒に過ごす楽しさを味わう中で、しっかりと自分の思いを伝え、相手の思いを受けとめられる関係づくりをしていけたらと思っています。また、小学校就学に向けても、困ったこと・不安なことがあった時に少しづつでも自分で言えるようになってほしいと思っています。



1日1日を大切に、楽しく過ごす中で保護者の皆様とも子どもたちの成長と一緒に感じたいと思っています。1年9月よりしくお願いします。

